

指定管理者評価シート

事業名	教育文化会館運営管理費	所管課(電話番号)	市民文化局文化部文化振興課(211-2261)
-----	-------------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市教育文化会館	所在地	中央区北1条西13丁目
開設時期	昭和52年7月(平成14年改修)	延床面積	16,372.06㎡
目的	芸術文化及び教育活動の中心的な施設として、音楽、舞踊、演劇、美術等の制作及び発表の場に供し、それらの事業を行うことで、本市の舞台芸術の振興を図ることを目的とする。		
事業概要	ホールや研修室等、施設の管理運営、舞台芸術振興のための主催事業の実施。		
主要施設	大ホール、小ホール、リハーサル室×2、練習室×2、研修室×8、講堂、ギャラリー		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市芸術文化財団		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：教育文化会館は札幌市における文化芸術振興の中核となる施設の1つであり、指定管理者には舞台芸術の普及振興を図る多様な事業を引き続き実施して行くための専門的な知識や経験、幅広いネットワークが必要となるとともに、管理運営にあたっては長期的な視野に立った継続的な事業運営や人材育成、ノウハウの蓄積などを特に必要とするほか施設における事業内容の企画立案等を本市と指定管理者とが一体となって行う必要であることなどから、非公募とした。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸館業務(利用料金制度)、施設における事業の計画及び実施に関する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼ 道内文化施設の中核的役割を担う施設として、以下の5つの基本方針を策定した。</p> <p>①質の高い舞台芸術に接する機会の提供 ②札幌の芸術文化活動の支援・創造・ネットワークの拠点 ③安心・安全で快適な施設環境と利用運営 ④環境への配慮とコスト意識の徹底 ⑤専門性の高い人材の育成</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼ 公的施設として、施設利用にあたっての公平性を重視し、条例や規則等に則した貸館事業を行った。</p> <p>▼ 一斉受付(公開抽選会)においては、公平性を重視すべく、同一団体が重複して申込が行われないよう、調査票のチェックを慎重に行うなどし、不正が無いよう努めた。</p> <p>▼ 優先受付においては、札幌市教育文化会館使用申込受付事務取扱要領に定められた基準に照らし、統括責任者である館長を中心に審査を行った。</p>	<p>札幌市教育文化会館の設置目的と指定管理における基本方針に基づき、これまでの実績を踏まえながら、会館の運営・管理及び事業を実施した。</p> <p>申込ルールについては、ホームページへの掲載や電話での問い合わせ、抽選会場での説明等を通して利用者に周知を行い、公平な施設利用を促すことができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>5つの基本方針に基づき、平等利用を徹底した運用を行っているほか、ゴミの排出量を低水準で維持し、省エネの取組も引き続き行っている。</p> <p>利用者からの要望に対しても可能な限り要望に応える形で対応しており、快適に施設を利用いただけるよう努めている。</p> <p>以上より、本市の要求水準を満たす管理運営が行われている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▼ 施設利用申込については、原則5日間以上の予約申込は不可としているが、利用内容を考慮した中で、やむを得ないと判断される案件については、内容を勘案のうえ、緩和対応も行っている。</p> <p>▼ 札幌市以外の遠隔地からの申請については、利用調査票に基づき、請求書での納付対応を行うなど、柔軟な対応を行った。</p>	<p>優先受付については、慎重を期すため、窓口を一本化するとともに、申込希望者に対し、個別に資格や基準等の詳細な説明を行い、理解を促した。</p>
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼ 事務室ほか、館内から排出されるゴミは7種類に分別し、リサイクルしやすくなるよう努めた。また、利用者にはゴミの持ち帰りのご協力を依頼し、事業ゴミ排出の軽減を行った。持ち帰りが困難な場合はゴミ袋の販売など、有料で引き受けることとし、排出ゴミを抑止することにつなげた。</p> <p>▼ 収集したゴミを圧縮する装置の導入により、排出されたゴミ容積の縮小を行い、処理経費の低減を図った。</p> <p>▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、エネルギー使用量などの各種帳票情報を提出した。</p> <p>▼ 紙類の積極的なリサイクルを推進するため、古紙(新聞・雑誌・チラシ)回収以外にミックスペーパー回収袋を事務室内に設置し、雑紙のリサイクルを推進した。この他、段ボールやシュレッダー屑も別途回収事業者へ引渡し、リサイクルを行った。</p> <p>▼ 冷暖房の運転を細かく監視し、利用者の快適性を損なわない範囲で余分なエネルギーを消費しないよう努めた。</p> <p>▼ ロードヒーティングについては、安全を第一にしながらも、降雪センサーと目視、気温などの気象条件を勘案し、細かな設定を行うなど、効率的な運用を図った。</p> <p>▼ 施設内において、利用のない箇所やフロアの消灯、事務室では昼休み及び夜間における執務終了部署付近の消灯を行った。</p> <p>▼ 併せて館内照明については、間引きや消費電力の少ない灯具の採用などを継続して行っている。</p> <p>▼ 館内の照明器具や電球等について、消費電力や発熱量の少ないLED照明への交換を、指定管理者が継続して順次実施し、電力量の抑制に努めた。</p> <p>▼ 札幌市の「電力見える化プロジェクト」に協力。デマンド監視装置を導入して館内の電力使用状況を常にモニタリング可能とし、節電・省エネに努めた。</p>	<p>平成24年度の事業ゴミ排出量は69.1㎡であったが、翌年から20㎡台まで減少。27年度は27.3㎡、28年度は27.0㎡、29年度は27.5㎡と、低い水準を維持しており、ゴミの分別・リサイクルや排出ゴミの削減の取組について、一定の効果を持続させることができた。</p> <p>館内の照明器具については、前年度に引き続き電力消費量の少ないLED化を積極的に進め、29年度は小ホールホワイエの照明をLED化した。</p> <p>このように、エネルギーの節減や経費抑制と、施設の利用環境を高いレベルで維持することの両立に取り組み、経費の圧縮など、一定の成果を上げることができた。</p>

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者として事業部長を、職務代理者として管理課長を配置している。
- ▼ 当初の研修計画に基づき、以下の職員研修を実施した。
 - ・4月 新規採用職員研修①
個人情報保護・セクシャルハラスメント防止研修
 - 新規採用職員研修②
接遇研修(ビジネスマナー)
 - ・6月 平成29年度公文協研究大会(久留米大会)
デジタルワイヤレスマイク(SHURE)セミナー
 - ・7月 (一財)地域創造・ステージラボ高知セッション
 - ・9月 第一回法定防災訓練
 - ・10月 (一財)地域創造・ステージラボ公立ホール・劇場マナージャーコース(東京)
札幌防火管理者協会・札幌危険物安全協会合同教養セミナー
 - ・11月 パソコン研修
北海道地域アートマネジメント・技術職員研修会
 - ・12月 テロ対策講和、実技研修
 - ・1月 年金とナイスライフセミナー
 - ・1月 新任係長職研修
全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2018(東京)
 - ・2月 管理職マネジメント研修
第二回法定防災訓練
 - ・2・3月 コンプライアンス研修

職員として身につけなければならない基礎的な内容のほか、事業実施における知識の習得、情報交換と収集、安全管理や人命に関わる防災関係の資格取得を促した。またコンプライアンス関係の研修を重視し、積極的な参加を促したことにより、職員の意識向上が図られ、施設の安心・安全な環境の提供、主催事業の成功などの成果に繋がった。

当初の研修計画以外にも、従事する職員にとって必要な外部研修には可能な限り積極的に参加させ、会館運営業務に必要な知識のさらなる蓄積と、モチベーション向上に役立てた。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ 当財団が管理する各施設をネットワークで結び、情報の共有と迅速な意思疎通を図っている。
- ▼ 財務、経理システムの統一化により、予算執行状況の把握と効率良い伝票処理を実現している。
- ▼ 会館勤務の職員に限らず、常駐委託事業者も含め、施設内での情報一元化と共有を図る手法(情報共有データベース)を導入し、利用者・来館者に対するきめ細かで迅速な対応に繋がった。これには日々の施設利用者情報や催し物、チケット販売、障がい者用駐車場の利用、遺失物、拾得物等や職員の勤務状況なども網羅し、事務の効率化を図った。
- ▼ 会館職員と常駐する施設管理における委託事業者、テナントなどと定期的に日常業務における問題点(温度管理、安全管理、来場客等の扱いなど)、利用者や有識者等からの意見等を速やかに相互報告する定期的な会議を設け、臨機応変な対応と改善に努めた。

財団が管理する他の施設と操作方法が統一化された施設の予約受付システムやその他システムの運用により、円滑で適切な対応を行うことができた。

会館職員及び委託事業者で構成する定期的な会議では、情報共有を密に行い、発生する問題の解決に向けた取組を行うことができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ▼ 財団規程に基づき、公正な契約事務の執行に努めた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 札幌市教育文化会館施設運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 7月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月の施設貸出状況について ・平成29年度 事業課事業係 主催事業計画について ・平成29年度 札幌市民芸術祭 事業計画について ・館内アンケートについて ・その他 意見交換、質疑応答
第2回 11月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・6～10月の施設貸出状況について ・6～10月の主催事業について(報告) ・6～10月の市民芸術祭事業について(報告) ・館内アンケートについて ・8月実施 教文☆ナビ事業報告 ・その他 意見交換、質疑応答
第3回 2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・11～12月の施設の貸出状況について ・11～12月の主催事業について ・11～12月の市民芸術祭事業について ・2月実施予定 教文☆ナビ事業計画 ・1月実施 教文☆ナビ事業報告 ・館内アンケートについて ・その他 意見交換、質疑応答
第4回 3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2月の施設の貸出状況について ・1～2月の主催事業について ・1～2月の市民芸術祭事業について ・館内アンケートについて ・2月実施 教文☆ナビ事業報告 ・その他 意見交換、質疑応答
<p><協議会メンバー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地 域：大通地区町内会連合会会長 ・利用者：北海道・札幌文化団体協議会事務局長 教文13丁目笑劇一座 座長 ・有識者：広告制作会社アドバイザー ・行 政：札幌市市民文化局文化部長 ・指定管理者：札幌市教育文化会館館長(教育文化会館事業部長) 	

札幌市教育文化会館の管理運営水準の維持のため施設貸出状況についての報告および主催事業の進捗状況・実施報告を行った。

各報告を基にしなが、施設利用率の上昇およびサービス向上に向けた改善策や、主催事業に関する意見交換を運営協議会の委員と行い、各業務運営に役立たせる助言やご意見をいただいた。

時季により利用率が低調な施設については、利用促進策について幅広いご意見を頂くことで今後の運営の参考とさせていただきます。

運営協議会を通じ、地元や地域との連携をはかり、協力体制をより強固なものとした。常に利用者のニーズに応えた運営に努め、施設の満足度を高めるようにしていきたい。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。

▼ 現金等の取扱いについては、現金取扱要綱に則り、適正な処理を行った。また、通帳、現金、金券類の取扱いや、現預金の入出金も分任出納員により管理されているほか、定期的に財団の内部監査や札幌市の業務検査を受けるとともに、セルフモニタリングも実施した。

資金管理については、常に財務・収支状況を明確にするとともに、財団の内部監査及び業務検査を相互に行ったことにより、牽制作用が働き、適正に管理することができた。

▽ 要望・苦情対応

▼ 要望・苦情については、事業部内で対応への体制を整えており、迅速かつ適切な対応を行った。

以下、窓口やメール等でいただいた主な事例

- ・ 玄関ホール等に傘立てを設置して欲しい。
⇒ 1階には多くの来館者に対応できるだけの傘立てを設置するスペースがないため、容易にビニールの傘袋が装着できる傘袋スタンドを玄関ホールに設置、館内に傘を持ち込めるようにしている。
- ・ 室内体感温度の高低に関してご満足出来ない場合
⇒ 専属スタッフが常に館内の状況を確認しながら要望に応じて都度温度調節を行っている。
- ・ 会場案内板をもう少し多く準備して欲しい。
⇒ 館内外の施設案内表示をより分かりやすいデザインにリニューアルした。特に4階ギャラリーへの案内サインを増やし、利用者の利便性を図った。
- ・ 鍵渡しを20分前からしてほしい。
⇒ 前区分の利用者の利用終了状況や清掃の進捗により、可能な範囲で柔軟に対応することとした。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼ 指定管理者業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。

- ・ 管理業務に関する諸規程
- ・ 文書管理簿
- ・ 各年度の事業計画及び事業報告書
- ・ 収支予算・決算に関する書類
- ・ 金銭出納に関する帳簿
- ・ 物品の受払いに関する帳簿
- ・ 各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類

▼ 施設管理に係るアンケート調査は通年で行っており、フロアごとの施設に応じた内容のアンケート用紙を作成し、配布している。質問内容は、指定管理要求水準に準じた内容としている。調査結果については、集計整理後、年4回開催される運営協議会で報告したほか、館内掲示やホームページ上での公開を行った。また、対応可能な案件については、積極的に取り組んでいる。

利用者からの要望に対しては、真摯に受け止め、可能なものは迅速に改善するよう努めた。施設の不備等については、計画的及び定期的な保守点検に加え、随時巡回を実施し、早期発見に努めている。不良・危険箇所の早めの補修や更新を行うことで、来館者に安全かつ快適な環境を提供できた。これまでいただいたご意見とそれに対する対応をデータとして蓄積し、今後の更なるサービス水準の維持と向上に生かして行きたい。

記録・帳簿等を適切に整備保管し、日常業務の効率化と円滑な事務に繋げ、加えて内外部からの照会・参照依頼にも速やかに対応することができた。

アンケート内容については、館内各フロアにも掲示するなど、取組や対応についても広く周知することができた。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 適正な内容で36協定を締結したほか、雇用環境の維持向上のため、関係法令に基づき財団諸規則等の見直しをおこない、労働基準監督署に届け出た。 ▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。 ▼ 就業規則を含む例規集は、財団内LANにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。 ▼ 毎月の給与の計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務部署を通じ、社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。 ▼ また、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職場環境の向上に努めている。 ▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の相談を含めて個別相談にも応じる体制を採っている。 ▼ 「やりがいある仕事」と「充実した生活」の両立を目指した取組を行っている。 	<p>36協定の内容を遵守するよう、長時間労働の状況把握及び業務配分等に取り組んでいる。</p> <p>雇用環境については、繁忙期と閑散期があることを踏まえ、業務の効率化や人員体制の補強を行うなど、環境を整えるよう配慮している。</p> <p>また、札幌市ワークライフ・バランス取組推進宣言企業(認証ステップ1)として認証を受けているほか、5年計画で策定した一般事業主行動計画を現在遂行中である。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">B</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>労働関係法令は遵守されており、また、労働協定に基づいた業務の見直しにも努めている。</p> <p>業務の性質上、時期による業務量の変動はあるものの、ワークライフバランスの取組を受け入れなど、財団全体として雇用環境の維持向上を図っており、本市の要求水準を満たす適切な管理運営が行われている。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>労働関係法令は遵守されており、また、労働協定に基づいた業務の見直しにも努めている。</p> <p>業務の性質上、時期による業務量の変動はあるものの、ワークライフバランスの取組を受け入れなど、財団全体として雇用環境の維持向上を図っており、本市の要求水準を満たす適切な管理運営が行われている。</p>			
A	B	C	D								
<p>労働関係法令は遵守されており、また、労働協定に基づいた業務の見直しにも努めている。</p> <p>業務の性質上、時期による業務量の変動はあるものの、ワークライフバランスの取組を受け入れなど、財団全体として雇用環境の維持向上を図っており、本市の要求水準を満たす適切な管理運営が行われている。</p>											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 日常における施設の維持管理については、来館者の安全を最優先に心掛け、業務を遂行した。 ▼ 施設損害賠償保険は全国公立文化施設協会会で運営する、公共施設用に設計されたものに加え、万一の事故に対応可能な体制をとっている。また、情報漏洩特約にも加入し、万全の体制をとっている。 ▼ 拾得物及び遺失物は、データベース化を図り、発生する毎に登録のうえ、会館全職員共有のネットワークシステムにて管理している。窓口・電話での照会に対し、お客様をお待たせすることなく、正確で速やかな検索と引渡しを行っている。なお、一定の保管期間を経過し、引き取り手の無い拾得物や、特に貴重な拾得物については最寄りの警察署に引き渡し、適切な処理に努めている。 ▼ 施設環境の改善と安全性向上のため、定期的に巡回及び点検を行い、特に冬期間は積雪状況に応じて、こまめに除雪を行い、落雪など危険の有無を監視、利用者の安全対策を強化した。 		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">B</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>関係法令を遵守し、点検についても適切に行っている。また、安全面から必要な修繕についても、本市との情報共有により、迅速に行っており、本市の要求水準を満たす適切な管理が行われている。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>関係法令を遵守し、点検についても適切に行っている。また、安全面から必要な修繕についても、本市との情報共有により、迅速に行っており、本市の要求水準を満たす適切な管理が行われている。</p>			
A	B	C	D								
<p>関係法令を遵守し、点検についても適切に行っている。また、安全面から必要な修繕についても、本市との情報共有により、迅速に行っており、本市の要求水準を満たす適切な管理が行われている。</p>											

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼ 札幌市の備付備品については、破損や不具合、不足などのチェックを定期的に行い、必要に応じて修繕・補充を行った。

▼ 舞台については利用者視点を重視したサポート体制をとり、利用経験の少ないアマチュアやプロの利用を問わず、最大限の演出効果が得られるよう、安全管理を重視しながら、利用者の立場に立った丁寧なアドバイス・調整など、きめ細かい対応を行った。

▼ 舞台や研修室等の備品は、催しの成否に直接繋がるため、常に点検・確認を行い、必要に応じて修理・修繕を施し、最良状態の維持に努めている。その中で、頻繁に故障する備品や老朽化、陳腐化して使用に耐えられない備品がある際には可能な限り更新を行い、安全・安心な利用環境を提供した。

▼ 駐車場については、会館の運用により駐車可能台数を定めており、施設利用者にあらかじめ駐車券を発行し、入庫数をコントロールするなど、日々の円滑な車両管理に努めた。身障者用駐車スペースの利用希望があった場合は、事前に連絡をいただき、到着・利用予定時間を伺うとともに、スロープへの誘導を行うなど、きめ細かく対応した。

▼ 外構緑地管理においては、日々の点検により、駐車場車止め・縁石の破損や塀・ブロック等の崩れの補修、施設の塗装・営繕を都度行った。また、老朽化が進む館の内外部の補修の実施や、以前より幅員が狭く物損事故が時折発生していた大ホール搬入口前の改修を札幌市側に要請し、工事実施に繋げた。このほか敷地内でのカラスやスズメバチの巣の有無等を確認するなど、利用者や通行者の安全と衛生の確保に努めた。

▽ 防災

▼ 会館職員の災害に対する意識やスキルを高め、もって安全な会館運営を目的として、防火管理者資格取得の講習を受講させた。

▼ 自衛消防隊を組織し、会館職員と舞台・警備・清掃・設備・レストランの常駐委託事業者が一体となって防災意識を持てるよう、防災訓練への参加を義務付けている。このことにより、万が一緊急事態が発生した場合でも、それぞれが役割に応じた適切な対応を行い、利用者の安全を確保できる体制を構築している。

▼ 以下の防災訓練及び講習を実施・受講した。

・4月、6月、9月、10月 甲種防火管理者研修
 ・9月、2月 防災訓練実施(会館に起こりうる火を使う箇所からの火災を想定した対応研修として実施)

特に2月には、施設の防災設備・避難器具の使用方法等を実技を交えて学んだ。さらに館内の防災設備の点検・整備を定期的に行い、避難器具・消火設備を最新型に更新、非常時に備えた。

また、館内の衛生面対策を重視し、ノロウィルスの流行などを想定した実技を伴う危機管理講習を保健所の職員を講師に招いて実施した。

安全かつ快適な環境を提供するため、日常的に点検を実施し、施設の破損や劣化、不具合を早期発見し、補修等を行うことにより、施設の良好な維持管理に努めることができた。

救命講習は全職員を対象に実施しており、受講により、応急手当等の技能の習得を図ることができた。また、現実に即した形での防災訓練を実施したことにより、会館職員及び常駐委託事業者全員の防災意識を高めることができた。

(4)事業の計画・実施業務	▽ 主催事業		A	B	C	D
				<p>▼ 優れた舞台芸術作品の鑑賞機会の提供 若手演出家の谷賢一による音楽劇「三文オペラ」のほか、日本の代表的な古典芸能である人形浄瑠璃文楽の「桂川連理柵」「曾根崎心中」を上演した。</p> <p>▼ 札幌の舞台芸術の創造・発表事業 札幌の演劇の振興と普及を目的に開催した「教文演劇フェスティバル」では、短編戯曲のワークショップや札幌をはじめ道内外各地の劇団が短編演劇の優勝を競う「短編演劇祭」、2016年優勝記念の公演を開催した。</p> <p>▼ 舞台芸術活動の育成・支援 「教文13丁目笑劇一座」では、一般公募の市民によって構成された喜劇団の活動を支援しており、福祉施設や道外での出張公演など主体的な活動が行われた。 コミュニティダンス「しっふまいるー」では、若者とシニア世代がオリンピックをテーマに共同でダンスを創作し、舞台発表公演を行った。</p> <p>▼ 次世代の表現者・愛好者の育成 「夏休み子ども体験喜劇」では、喜劇の面白さ、チームワークづくりを体験するワークショップを行った。 子ども演劇ワークショップ「ローリング・ストーン」では小学生から中学生までの参加者が、地元のアーティスト達と共に協力し合いながら作品を創り上げた。</p> <p>主催事業 7公演/4,391人 6講座/423人 共催事業 2公演/3,240人</p> <p>▽ 自主事業(札幌市補助事業)</p> <p>▼ さっぽろアートステージ事業(さっぽろオペラ祭) 市内オペラ団体と協力し、札幌におけるオペラの普及に努めた。オペラ公演をはじめ、母親と乳幼児を対象とした「モーニングコンサート」や大ホールでの本格的なオペラ公演を実施するなど幅広い事業を行った。</p> <p>対象事業 6公演/1,665人 1講座/115人</p> <p>▼ 能楽振興事業 小・中学生のための能楽入門ワークショップを開催し、能の歴史についてのレクチャーや謡と仕舞を受講者が体験する成果発表会を行った。また、京都を代表する金剛流による「松風-見留-」や野村万作萬斎による狂言を上演し、市民に能楽の楽しさを伝える取組を行った。</p> <p>対象事業 2公演/1,671人 2講座/821人</p>	<p>施設の機能を十分に活かし、先駆的な舞台芸術作品から古典芸能まで質の高い舞台作品を提供することができた。</p> <p>「短編演劇祭」では地元と道内外の劇団の交流の場を創出することができた。</p> <p>活動を通して、福祉施設や地域のコミュニティなど、舞台芸術活動の新たな活動場所の開拓や活性化に貢献することができた。</p> <p>子ども演劇ワークショップ「ローリング・ストーン」では8月～2月のワークショップを通して演劇作品を制作し、発表公演を行うことで演劇愛好者を育成できた。</p> <p>小学生や親子で親しめるオペラコンサートを開催し、子育て世代でも音楽を楽しむ機会を提供し好評を得た。</p> <p>日本を代表する古典芸能でありながらも、普段触れる機会が少ない能楽について、参加・鑑賞・体験の場を創出することで市民に広く知っていたくことができた。</p>	<p>前年度に引き続き、演劇・能楽・オペラを中心とした舞台芸術の公演を行った。特に、周年事業を積極的に展開し、オペラ公演では体験的立見席を設けるといった新たな舞台芸術の楽しみ方を提供したり、親子向けコンサートを実施したりする等、幅広い年齢層に向けた公演を行った。</p> <p>以上より、本市の要求水準を上回る事業を実施している。</p>

▼ 札幌市民芸術祭

札幌市民の芸術文化における幅広い創造、発表活動を積極的に推進し、札幌市の芸術文化の一層の振興を図ることを目的として、札幌市長から委嘱を受けた芸術文化関係者124名による実行委員・監事及び10部会の委員で実行委員会を構成し、事務局を運営するとともに各事業を実施した。

特に優れた発表を行った個人又は団体に対して、札幌市民芸術祭大賞・同奨励賞を贈呈し、平成29年度は11団体29個人を表彰した。

・事業数：10事業（札幌市民劇場／マンドリン音楽祭／ギター音楽祭／市民合唱祭／市民美術・書道展／市民文芸／新人音楽会／邦楽演奏会／札幌市民吹奏楽祭／市民写真展）

・総入場者数：21,818人

・出演者及び参加者数：7,189人

札幌市民芸術祭事業により、市民の芸術文化の創造・発表の場及び上質な作品鑑賞の機会を提供することができた。

また、顕彰制度は参加者の創作意欲を奨励し、目標と励みになるほか、次代を担う若手や新たな人材の育成にも寄与している。

これらの事業を展開することにより、市民の芸術文化活動に対する理解を深め、札幌市の芸術文化の振興に貢献することができた。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		H28実績	H29計画	H29実績
大ホール	件数(件)	258	265	254
	人数(人)	196,216	209,000	189,973
	稼働率(%)	81.9	84.0	78.3
小ホール	件数(件)	295	300	320
	人数(人)	71,487	79,500	71,163
	稼働率(%)	82.1	83.0	82.4
リハーサル室・練習室	件数(件)	1,219	1,300	1,214
	人数(人)	41,758	49,500	41,416
	稼働率(%)	71.8	73.0	72.8
研修室・講堂	件数(件)	2,568	2,600	2,601
	人数(人)	247,631	285,500	171,643
	稼働率(%)	71.0	72.0	70.9
ギャラリー	件数(件)	103	120	167
	人数(人)	4,490	6,500	7,532
	稼働率(%)	31.4	35.0	51.5
総入場者数(人)		561,582	630,000	481,727

▽ 不承認 0件、取消379件、減免614件、還付196件
 ※減免件数は、平成28年度と比較して、主催事業の充実、他事業部での利用増、教文☆ナビ企画などの利用促進事業の実施に伴い、増加している。
 ※還付件数については、利用取消の際に、料金還付の対象とした回数をカウントしている。

平成28年度と比較すると若干の増減はあるが、ほぼ同率で推移した。特に4階ギャラリーの稼働率については、40周年事業での活用が増加したことや、看板表示の改修・PR効果等を行い、利用率の向上に繋がった。今後も札幌市と協議を重ね、稼働率、満足度の維持向上につなげたい。

所感として、全館的に大規模な利用より、小規模かつ少人数で利用する団体が増加している傾向にある。結果として総入場者数は減少しているが、個人での利用や仲間内でのサークル活動等、より気軽に利用いただけるようである。

なお、計画(目標)に比して実績が下回った部分については、利用者サイドの申し込み組み合わせ、連続利用の可・不可などに加え、土・日曜などの休日、週末夜間の利用希望が集中することなどが考えられる。

引き続き利用しやすい施設的环境を整え、サービスの維持や積極的なPRなどでリピーターの確保に努め、今後も高い稼働率を維持していきたい。

A	B	C	D
全館貸切のような大規模利用が減少傾向にあることや、利用区分の組み合わせが合わない等の理由から、大ホールの稼働率は前年比3ポイント以上低下した。			
一方、周年事業でギャラリーを活用する取組を新たにを行い、稼働率は20ポイント以上上昇した。			
主要貸室である大ホール・小ホールの稼働率が前年度実績値がともに下回っており、総入場者数も前年度実績値・当年度計画をともに下回っていることから、本市の要求水準を下回る結果となっている。			
貸館の性質上、利用件数や人数は催事の内容・規模に左右される部分はあるが、より多くの方に利用いただけるよう、利用団体や催事の内容等、貸館のニーズについて分析をするよう努めていきたい。			

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 受付時間、舞台の仕込み及び撤去などについて、利用者の要望によっては、別途料金は発生するものの、前後の時間延長を認めるなど、柔軟な対応を行っている。 ▼ 申込手続きの簡素化と利用者サービスの向上のため、利用者登録を推進し、リピーターの確保に努めた。 ▼ 小ホールの練習限定割引料金の設定については、ホール空き日の制約はあるものの、平成18年度の運用開始から10年が経過した現在も根強いニーズと一定数の利用者があり、有効な利用形態であることから、今後も継続して利用を促したい。 ▼ 一斉受付や通常の利用申し込み受付の際にノベルティ(カレンダー)を配布するなど、今後も利用していただけるよう、利用促進のための活動を行った。 	<p>施設利用者の安定的な獲得に努めるべく、ホームページやカレンダー、最寄り駅の地下鉄駅広告などを最大限に活用した。また、アンケート以外にも受付窓口にて可能な限り使用後の感想を尋ねるなど、利用者の生の声や要望を聞き、サービスの維持向上を図ることができた。</p>				
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 広報の拡充 ・会館オリジナルキャラクター「教文大使コネ・クートくん」を、様々な広報媒体やノベルティなどに積極的に使用し、「人と芸術と社会をつなぐ」会館としての姿勢を広くアピールした。 ・事務用封筒や業務用紙袋には同キャラクターをレイアウトして用いている。 ・平成29年度は同キャラクターを用いた開館40周年を記念する装飾を入口の自動ドアや1階ロビー各所に施し、華やいだ雰囲気でお迎えした。 ・毎年作成しているオリジナルカレンダーは、会館の休館日や保守点検日などを載せ、同キャラクターを用いて作成し、会館利用者を対象に積極的な配布で、好評を得ている。 ・貸館事業(特にWEBでの空き照会・予約サービスの周知等)を含め、広く一般に向けた施設PRを行うため、地下鉄西11丁目駅構内に電照看板を設置したほか、地下鉄駅構内の掲示板に宣伝ポスターを定期的に掲出した。 ・ホームページをはじめとし、広報さっぽろや月別ホールスケジュールの配布・館内掲示を通じ、貸館・主催事業ともに広くPRを図った。 ・ホームページアクセス数 H29: 579,062件 	<p>会館オリジナルキャラクターである教文大使「コネ・クートくん」のノベルティ(クリアファイルやイベント用の団扇、広告入りポケットティッシュ)等の作成及び配布を行うことで、会館のPRを行っており、会館利用者等に大変喜ばれている。</p> <p>このキャラクターを守り育てることが、親しまれる施設づくりに繋がるという精神を今後も心掛けてゆくことを大事にしたい。</p> <p>地下鉄駅構内の広告は、一瞬で教文のイメージと存在を伝える役割として重要なため、今後も継続していきたい。ホームページは、アクセス数の多さなどから最重要情報源に位置づけており、常に最新情報の提供に努めたい。</p>	A	B	C	D

▼ 教文☆ナビ

会館に対する関心や親しみを喚起することを目的に、施設開放事業として、「教文☆ナビ」を年間3回実施し、多くの参加者を得た。

①「統・支配人からの挑戦状！」平成29年8月7日(月)

参加者数:41人

②「大ホール見学ツアー」平成30年1月11日(木) 参加

者数:17人

③「教文ほっと♡キャンドル」平成30年2月10日(土) キャ

ンドル制作参加者数:7人、展示観覧者約300人以上

▼ 主催事業

・主催事業広報誌「らく」年3回15,000部発行、舞台芸術

告知ペーパー「act」年3回15,000部発行

・主催事業ポスター、チラシを市内の各文化施設やホールに配布、掲出したほか、各広報媒体へ情報提供を行うことで新聞や雑誌への掲載も積極的に実施した。

・会館正面の壁面での掲出や臨時仮設看板を設置し、年間を通じて主催事業に関する情報を掲出した。

「教文☆ナビ」企画は、前年度に引き続き、開催時期(夏・冬休み中、雪まつり期間中など)や参加者ターゲットを絞り、企画内容を厳選したうえで、施設の機能をフルに活用した。

夏休み企画は施設を利用したゲームやクイズに親子で挑戦、冬休み企画は大ホールの様々な設備を見学・体験するなど、施設に一層の親しみと興味を持ってもらえる内容とし、次世代の利用者獲得にもつながる催しとした。毎回楽しみに参加している児童も見られるなど季節を通じた事業として定着した。

さらに、雪まつり期間中に実施したものについては、大通公園などを訪れる国内外からの観光客が、会館周辺を飾ったキャンドルの前で記念撮影をする光景が多く見られるなど、地域の観光にも寄与するイベントとなった。

2 自主事業その他		A	B	C	D
<p>▽ 自主事業</p> <p>▼ レストラン事業 レストランについては、直接来店されるお客様やアンケートによりご意見を伺い、メニューに反映させている。また、楽屋や研修室などでのコーヒーサービス等の出前や、弁当類の受注(ケータリングサービス)を行うなどの営業を行った。接客、メニュー及び金額等については、前年度に引き続き、運営事業者との打合せ・協議等や毎週定期的な実施する会議により、情報を密にし、ホームページへの掲載やブログ等による情報発信を促すなど、レストラン運営に反映させた。</p> <p>▼ 自動販売機の設置 利用者サービスの一環として飲料の自動販売機を設置している。</p> <p>▼ ゴミ袋販売 公共施設における環境問題への取組や運営コストの削減の一環として、利用者が出すゴミについては持ち帰りを基本とし、ゴミ減量にご協力いただいている。また、物理的な理由等により持ち帰りが難しい場合においては、会館専用の有料ゴミ袋を販売し、事業ゴミとして処理している。 販売枚数：燃えるゴミ(45リットル) 762枚、 燃えるゴミ(20リットル) 58枚、 再生可能品(45リットル) 358枚</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼ 施設の管理運営に必要な再委託業務26件について、特殊な場合を除き、札幌市内に事業所を有する市内の企業に発注した。</p> <p>▼ 福祉への取組として、事業のひとつである、「教文・13丁目笑劇一座」による出張公演の実施、市民ロビーの開放、障がいのある方への駐車施設の利用配慮などを行っている。</p>	<p>レストランにおいては、好評の日替わりランチメニューや毎月の感謝イベントを引き続き実施している。特に、感謝イベントでは、チョイスメニューやデザートバイキングなども採り入れ、お客様に飽きさせない工夫を行っており、安定したリピーターを獲得している。 また、楽屋や研修室などでのケータリングは利便性が高く、好評である。</p> <p>利用者に対し、ゴミの持ち帰りのお願いと説明を行っている。ゴミ袋販売枚数については、前年度より微増しているが、ほぼ例年並みに抑えられており、会館のゴミ減量に対する姿勢が浸透してきているものと考えられる。今後も、ゴミ削減に協力いただけるよう、継続して周知を図りたい。</p>	<p>レストランについては、メニューにアンケート結果を反映させる等、リピーター確保に努めている。 その他、環境に配慮したごみ袋販売や市内企業等の活用も行っており、本市の要求水準を満たす運営がなされている。</p>			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

(施設管理)

実施方法	<p>通年(平成29年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 館内の各フロア等(大小ホール楽屋、地下、1階市民ロビー、2~4階廊下)にアンケート用紙とボックスを設置し、随時回収している。 アンケート用紙については、各フロアごとに、施設に応じた内容に変えており、よりきめ細かい意見の収集に努めている。 回収件数116件
結果概要	<p>施設の総合的な満足度は93.1%(「大変良い」、「良い」、「普通」の合計)、職員の接客態度についての満足度も94.8%(同上)と、全体的に良い評価をいただいた。</p> <p>各フロアの質問項目概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1階市民ロビー 施設満足度、接客態度、市民ロビーの雰囲気、館内サイン ②地下 施設満足度、接客態度、備品の使い勝手、館内トイレ等の清掃 ③2階 施設満足度、接客態度、レストラン、館内の清掃 ④3、4階 施設満足度、接客態度、設備の充実度、館内トイレ等の清掃
利用者からの意見・要望とその対応	別紙のとおり

(主催事業)

実施方法	<p>主催事業の来場者や講座受講者を対象にアンケート用紙を配布した。</p> <p>回答者数 4,644名</p>
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収数及び回収率が前年度より増加した。80.5%の入場者・参加者が満足している。 満足度について17%が無回答となっている。NPS等を活用して、鑑賞者の能動的な関わりをすすめていきたい。
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【要望】能の公演回数を1回ではなく4回位に増やしてほしい。</p> <p>【対応】能への関心の高さに応じて、公演数の増を検討する。</p> <p>【要望】全席同じ料金なのは不公平に見える。コンサートホールのようにS席、A席と区分してはどうか。</p> <p>【対応】各公演の特性にあわせて、席種設定の仕方を工夫する。</p>

貸館利用者アンケートでは、貸出施設の状態、職員の接客態度、清掃状況、設備への満足度などについて、具体的な意見、感想を得ることができた。

各フロアの施設によって特徴が異なることから、利用者の要望も多様であるが、寄せられたそれぞれの要望には可能な限り迅速に対応し、これを高める取組を行った。その結果、平成28年度に引き続き、施設および職員の接客態度について高い評価をいただいた。

今後も、来館者・利用者の幅広い意見を出来るだけ多く集めるために、工夫を凝らしてアンケート回収数の増加を図り、お客様が安心して継続的に施設を使っていただけのように、安全快適な環境づくりに尽力していきたい。

温度管理については、人によって感じ方が異なるほか、エネルギー削減による影響があるものの、様々な要望に対し、可能な限り速やかに対応することができた。

事業内容においては昨年に引き続き、参加・入場者の80%以上から高い満足度を得られた。今年度から、調査項目としてNPS(ネット・プロモーター・スコア:推奨者の量を表したスコア)を追加していく。これは、参加・入場者が友人、知り合いに自身の体験をどのくらい勧めるかどうかを尋ねるものであり、能動的な関わり方を測るもの。

A	B	C	D
<p>利用者アンケートでは、「総合満足度」、「接客に関する満足度」ともに本市の要求水準80%を上回っている。</p> <p>その他、主催事業においては、来館者の声を事業に反映させる検討を行っている。</p> <p>以上より、満足度については本市の要求水準を満たしているものの、回収件数については、本市の要求水準を著しく下回っている。</p> <p>主催事業におけるアンケートにも同様の項目を追加するなど、より広く来館者の声を把握するよう努めていきたい。</p>			

4 収支状況				①施設利用料金について、平成29年度は大・中規模学会の開催が例年よりも土・日曜日へのシフトが進んでおり、平日の利用が若干減ったことと、能舞台の改修工事などで大ホールが利用出来ない日があり、減収となった。	A	B	C	D
▽ 収支 (千円)				<p>②主催事業における収益は、前年度と比して入場料収入は減じたが、補助金・助成金の獲得により収益総額は前年度並みとなった。費用は周年事業の開催などにより増加した。</p> <p>③自主事業での入場料収益は前年比2.3倍の増となり、主催事業と併せた収益全体は例年並みとなっている。</p> <p>④支出については前年度に比べ設備更新にかかわる支払寄付金が大幅減となっている。また、当初予算と比して費用全体は削減傾向にある。</p> <p>⑤主催事業支出について、SNSの活用等、効果的な広報活動により、費用は抑えつつも大きな宣伝効果を生むことが出来、来場者増に繋がった。</p> <p>⑥光熱水費については、引き続きLED化などの省エネを行いつつも、利用者サービス向上に力を入れた結果、エネルギー量はやや微増したが館内環境の改善につながった。</p>	<p>収入については、区分利用の増加傾向が影響し、利用料金収入が減となり、計画比16,981千円減となった。</p> <p>支出面では、光熱水費や施設設備の更新抑制等、経費削減に努め、計画比21,849千円減となっている。</p> <p>以上より、計画比から若干額赤字となっているものの、収支均衡に努めており、本市の要求水準を満たす管理運営が行われている。</p>			
収入	479,177	462,196	▲ 16,981					
指定管理業務収入	460,676	443,671	▲ 17,005					
指定管理費	275,950	275,950	0					
利用料金	164,499	149,429	▲ 15,070					
その他	20,227	18,292	▲ 1,935					
自主事業収入	18,501	18,525	24					
支出	484,177	462,328	▲ 21,849					
指定管理業務支出	458,214	435,910	▲ 22,304					
自主事業支出	25,963	26,418	455					
収入-支出	▲ 5,000	▲ 132	4,868					
利益還元	0	0	0					
法人税等	0	0	0					
純利益	▲ 5,000	▲ 132	4,868					
▽ 説明								
<p>▼ 利用料金については、全体的に利用区分を減らして利用される傾向に加え、営利法人の利用に比して非営利の個人や団体の利用が多く見られた。このため、利用料金や備付物件料、営利割増料金が減収になっている。</p> <p>▼ 主催事業、自主事業を併せて、当初の計画よりも順調に推移し、特にメディア展開においてもSNSの活用等新しい試みが効果的に働き、入場者増に繋がった。これにより、補助金・助成金を含めた収益全体は例年並みを維持した。</p> <p>▼ 支出については、昨年度から引き続き細かい経費の見直しなどを効果的に行ったことにより、抑制につながった。</p> <p>▼ 館内施設や音響設備、能舞台などにおける修繕等を実施した。修繕費用は例年並みとなっている。 なお、当年度中は研修室305音響ミキサーや小ホール用松ドロップなどを更新し、合計1,166千円相当分について、資産価値増加分を札幌市に寄付している。</p> <p>▼ 当年度中においては、財団の自己資金を活用し、「40周年まつり」や「act総集編」などの周年事業に積極的に取り組んだ。</p>								

<確認項目> ※評価項目ではありません。		適	不適
▽ 安定経営能力の維持 当団体の財務状況等は、債務超過、累積欠損の状態になく、自己資本比率が50%以上等のため、経営の健全性が保たれており、安定経営能力が維持されている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 情報公開請求はなかった。 ▼ オンブズマンについては、案件は生じなかった。 ▼ 暴力団関係については、案件は生じなかった。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>(施設管理) 利用者にとって親しみやすく、使い勝手の良い施設づくりを目指してきたことが功を奏し、稼働率・利用件数ともに、安定した実績を残すことができた。特に、施設の不具合箇所や破損箇所、危険と判断される箇所等の速やかな把握とその対策を講じるべく、補修整備、保守点検管理について、札幌市へ連絡・報告、協議しながら実施することができた。</p> <p>また、札幌市が実施した施設の機器更新について、市側と密な連絡調整を図りながら、円滑に行うことができた。</p> <p>利用状況については、大規模な学会や大会の会場としての使用のほか、中小規模の団体の利用により、利用率は一年を通して安定した実績を残すことができた。また、日頃より、職員間及び常駐の委託事業者との情報交換を密にし、常に安全で快適な施設づくりに努めた。</p> <p>(主催事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典芸能の入門セミナーを催すことで若年層へ古典芸能を広めるとともに、既存の古典芸能ファン層へも満足度の高い鑑賞事業を提供することができた。 ・札幌ではなかなか見られない、話題性の高い演劇公演を実施し、若年層の観劇者も増加し、幅広い層に事業を提供することに繋がった。 ・道内外のネットワークを活用し、多様な公演の鑑賞機会をつくることができた。 	<p>(施設管理) オープンから40年が経過し、全体的に施設・設備の老朽化が進んでいる。大規模な修繕や整備は都度行ってきたが、長期間の休館を伴った大規模修繕からも相当な年月が経過していることから、安全管理を最優先に心がけ、きめ細かい保守点検・管理を行うとともに、札幌市の所管部署との情報交換を絶やすことなく、札幌市のアクションプランに掲げる施設の長寿命化を図る修繕や更新工事の実施に係る協議を続けていくこととした。</p> <p>このように、常に利用者の目線に立ち、今後も快適に安心して使っていただける施設とすべく尽力したい。</p> <p>貸館利用においては、予約の方法や流れの中において受付システムの検証を行いながら、改善すべき項目を洗い出し、利用者本位の運営を推進していきたい。</p> <p>(主催事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代に舞台芸術の魅力を継承すべく、青少年・児童向けの事業の充実を図るとともに、一流の舞台芸術に触れ、参加・体験する機会をつくる。 ・能楽や文楽、演劇、オペラ、ダンスなど幅広い事業を実施し、質の高い芸術を提供する。 ・広報や過去に行った事業の波及効果を市民に向けて幅広くアピールできる手段を構築する。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>全体的に本市の要求水準を満たしており、適切な運営が行われている。</p> <p>施設・設備等の維持については、法令を遵守し、適切に点検を行っているほか、利用者の安全や利便性に配慮した備品の改修や施設修繕を行っており、適切な運営がなされている。</p> <p>主催事業については、古典芸能のほか、オペラや演劇公演を行い、市民に文化芸術を親しむ機会を提供したほか、親子向けコンサートやワークショップを実施する等、より多くの市民に舞台芸術の魅力を伝えるための事業を数多く展開している。さらに利用者からの声については、前年度に引き続き、利用満足度が高水準を維持しており、適切な運営管理がなされていると評価できる。</p> <p>一方、貸館については、近年の利用団体の動向等により、特に大ホールの稼働率が低下傾向にある。より多くの市民が活用できるよう、貸館のニーズを分析し、工夫の余地がないか、検討していただきたい。</p>	<p>主催事業については、引き続き、古典芸能を含めた舞台芸術の振興に努めるとともに、地域や教育機関などと連携し、文化芸術活動を行う人材育成に資する事業に取り組むこと。</p> <p>経営面においては、施設の利用促進の取組や経費節減の取組を継続するほか、自主事業における事業収入の改善を図ること。</p> <p>また、経理関係事務の再点検、管理監督者の役割及び意識の徹底、適切なサイクルでの配置転換、コンプライアンス研修の実施、財団所管の実行委員会に対する内部監査の実施、これらの取組状況の報告については、引き続き取り組むこと。</p> <p>施設の利用については、特に大ホールの稼働率が低下しており、その他については、計画を下回る稼働率となっている。これに伴い、入場者数・利用料金収入が低下傾向であることから、これらについて分析し、課題の精査と改善に向けた取組を検討していただきたい。</p> <p>最後に、直近の動向として、市民交流プラザの開館や芸術文化の館の閉館を控えており、市有の各ホール施設における需要も変動していくものと思われる。利用団体や催事内容等、貸館ニーズの再把握に努め、ニーズに合ったサービスが提供できるよう、分析を行っていただきたい。</p>

平成29年度 主催事業一覧表

・札幌市教育文化会館

	入場(館)者数 参加者数	新規	道外開催事業	
			道外	国外
1 芸術文化環境の創造				
(1)優れた舞台芸術作品の鑑賞機会の提供				
①札幌市教育文化会館開館40周年記念事業 松竹大歌舞伎	1,934			
②札幌市教育文化会館開館40周年記念事業 人形浄瑠璃文楽	1,008			
③札幌市教育文化会館開館40周年記念事業 伝統芸能文化創生プロジェクト 金剛流能「松風一見留一」	703	●		
④札幌市教育文化会館開館40周年記念事業 野村万作萬斎狂言会	1,774	●		
⑤札幌市教育文化会館開館40周年記念事業 音楽劇「三文オペラ」	944	●		
(2)札幌の舞台芸術の創造・発表事業				
①教文演劇フェスティバル2017	571			
②札幌市教育文化会館開館40周年記念事業 教文40周年まつり	398	●		
③さっぽろオペラ祭2017	1,780			
④演劇ワークショップファシリテーター養成講座	29	●		
⑤子育て支援オペラコンサート	266			
(3)舞台芸術活動の育成・支援事業				
①教文13丁目笑劇一座	577		●	
②コミュニティダンスワークショップ	162			
(4)次世代の表現者・愛好者の育成事業				
①夏休み子ども体験喜劇	23	●		
②札幌市教育文化会館開館40周年記念事業 文楽セミナー わかればもっとおもしろい文楽の世界	277	●		
③子ども演劇ワークショップ～発表公演「ローリング・ストーン」	270	●		
④小学生のための能楽入門ワークショップ	15			
(5)文化施設、文化団体との協働事業				
①能楽鑑賞のひとつとき	340			
②人形劇フェスティバル2018 さっぽろ冬の祭典	921			
③第59回子ども舞踊祭 Junior Dance Festival	1,100			
③演劇シーズン2018-冬-	1,306			
2 芸術文化の普及振興				
(1)学校教育における芸術文化活動の支援				
①第35回札幌市小学校児童音楽祭	1,000			
②第69回札幌市中学校音楽会	800			
③第63回高文連石狩支部合同演奏会	2,268			
④中文連盟演劇ワークショップ2017	320			
⑤第32回札幌市中文連演劇発表会	3,800			
⑥第67回高文連石狩支部高校演劇発表大会	3,150			
⑦第12回北海道中学生演劇発表大会	1,400			
(2)芸術文化に関する情報の収集・提供				
①公立文化施設等とのネットワーク	-		●	
②専門家集団との交流やメディアの活用	-			
③アンケートの実施	-			
3 札幌市民芸術祭				
①札幌市民劇場	12,253			
②マンドリン音楽祭	1,071			
③ギター音楽祭	744			
④市民合唱祭	6,575			
⑤さっぽろ市民文芸	391			
⑥新人音楽会	949			
⑦邦楽演奏会	366			
⑧市民美術・書道展	1,189			
⑨札幌市民吹奏楽祭	4,728			
⑩市民写真展	741			
4 広報活動				
①情報誌の編集、発行	-			

平成29年度 貸館お客様アンケート集計表

【月別、フロア別 回収件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
市民ロビー	2	3	0	4	4	5	1	7	2	2	2	5	37
地下	0	3	1	1	0	5	2	0	10	1	0	0	23
2階	5	1	2	1	2	0	0	0	0	1	1	0	13
3・4階	3	1	2	4	10	5	1	2	4	5	3	3	43
合計	10	8	5	10	16	15	4	9	16	9	6	8	116

貸館お客様アンケートに寄せられたご意見・ご要望内容と会館からの回答について

項目	お客様からのご意見・ご要望	会館からの回答
館内の設備全般について	身障者用トイレにユニバーサルベッドがあると助かります。また身障者用駐車スペースも欲しいです。	ご意見をいただき、ありがとうございます。スペースの都合上新たにユニバーサルベッドを設置することは難しい状況となっております。2階に救護室及びベッドのご用意がございますので有事の際はご利用ください。駐車台数に限りはございますが、身障者用駐車場のご用意もございます。ご利用の際は事前にご連絡ください。
施設全般に関して	素敵な絵画を飾ってほしい。	ご意見をいただき、ありがとうございます。館内では絵画作品の他、彫刻・工芸や版画など、多くのアート作品を収蔵しております。館内外に展示しておりますので、ぜひご覧いただけますと幸いです。
	冷房の効き具合が分かるように、温度計がほしい。	ご意見ありがとうございます。温度計の設置について、内部で検討いたします。
	空調が直接当たって寒い。冷房の調節をしてほしい。	ご意見をいただき、ありがとうございます。館内の温度調整については、地下設備で一括の集合管理を行っております。利用者様からのご要望にはできる限りご対応いたしますので、何かお気付きの際は遠慮なく2階事務室までご連絡ください。
	駐車場の場所がわからない。案内板を大きく見やすくして欲しい。駐車場が無いのであれば、無いとお知らせをお願いします。	ご意見をいただき、ありがとうございます。当館の駐車場は、貸館主催者の業務用に限ってご利用いただいております。駐車場入口ゲートには案内板を設置しておりますが、確認しやすくなるよう改善してまいります。
	トイレがきれいで気持ちよかったです。	お褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。今後もお客様に快適にご利用いただけるよう努めてまいります。
レストランについて	講座・公演・観劇等での来館時、昼食をとるので会館へ来る楽しみの一つとなっています。今日も美味しいメニューで雪による悪路の大変さも吹き飛んだ気分でした。	お褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。今後もお客様に心地よいお時間を過ごしていただけるよう、スタッフ一同尽力していきます。
お客様対応について	・やさしい。 ・さわやか。	ありがとうございます。今後もお客様に気持ち良くご利用いただけるよう、丁寧な対応を心掛けてまいります。